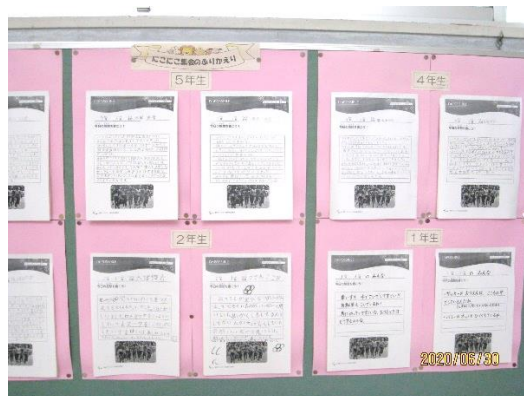




にこにこ集会(全校道徳)6月24日実施



玉島小学校では、年間を通して計画的に人権・同和教育を行っています。その1つに、同じ時間に学校全体で人権について考える「にこにこ集会」があります。この「にこにこ集会」では、「なかま」「いのち」「共生」の3つの視点から、誰もがにこにこ笑顔で過ごせるようにするにはどのようにしていけばよいかを考えています。仲間の大切さ、仲間を思いやる気持ち、協力することの大切さ、自分や友達を肯定的にみる力、命の大切さ、互いの体や心の違いを認め、尊重する大切さなどに気づき、身に付けていってくれたらと思います。

今回のテーマは「共生」で、パラリンピックを教材にして考えました。力武先生と門川先生がパラリンピックが始まった経緯、いろいろな競技の種類、競技者の思いを写真や動画を使いながら、分かりやすく話をしてくださり、子供たちは、真剣に聞くことができました。全体での話が終わってから、各教室でそれぞれ感じたことをしっかり書くことができました。数名の感想を紹介します。

- 最初に14枚の写真を見せられました。その写真を見て手足がなくなって気を落としているのにスポーツを一生懸命するのが伝わってきました。本当にすごいなと思いました。義足をはめたり、車椅子に乗ったり工夫していてすごいなと思いました。次に動画を見ました。伝えられた言葉で「大好きなことに100%力を注ぐ」という言葉が、心に響きました。私も大好きなこと、それと夢や目標に向かって100%力を注ぎたいです。あきらめないで頑張ります。(6年生)
- パラリンピックはオリンピックとちがうけど、気持ち、心は変わらない。勝ちたいと思う気持ちは、みんな同じなんだと思いました。そしてオリンピック、パラリンピックのマークは一つ一つ意味がある。競技のやり方はちがうけど、どんなときでもがんばろうと思う、そして勝とうと思う気持ちは一人一人がもっているから、だれかが特別ではないことが分かりました。がんばる、勝ちたいと思うのは自分自身！そういうことだと私は考えました。(5年生)
- その選手は「夢をあきらめない」ということが、私はとても感動しました。あきらめたくても、あきらめないのがすごいです。本当にみんな、あきらめないでがんばってください。ポイント「あきらめたら、そこで終わりだよ」(3年生)

